

<p>第 12 号</p>	<p>○論語素読教室 「人間形成はまず家庭から」／ 「儒教と教育」</p>	<p>○『論語』を学んで 「人知らずして慍みず、亦君子ならずや」／「怨」／「子曰わく、君子は器ならず」「子曰わく、先ず行う、その言はしかる後にこれに従う。」／「四十五にして聞こゆるなくんば、これまた畏るるに足らざるなり。」／「不義にして、富みかつ貴きは、我において浮雲のごとし」／「子曰わく、吾十有五にして學に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」／「子曰わく、君子は器ならず」「子曰わく、先ず行う、その言はしかる後にこれに従う。」／「子曰く…義を見て為さざるは勇なきなり」／「子曰わく義を見て為さざるは勇無きなり」／「曾子曰く、吾日に吾身を三省す。人の為に謀りて忠ならざるか、朋友と交わりて信ならざるか、習わざるを伝うるか。」／「子曰わく、吾十有五にして學に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」／「不義にして、富みかつ貴きは、我において浮雲のごとし」</p>
<p>第 13 号</p>	<p>○論語素読教室 「心に響く言葉を子や孫に」／ 「孔子と孝道」</p>	<p>○論語の中の好きな章句（一言感想文） 「知者は惑わず」／「天を怨みず人を尤まず」／「天を怨みず人を尤まず」／「天を怨みず人を尤まず」／「教え有りて類無し」／「己の欲せざる所は人に施すこと勿れ」／「勞して怨みず」／「仁に志せば悪むこと無きなり」／「仁に志せば悪むこと無きなり」／「仁に志せば悪むこと無きなり」／「逝く者は斯の如きか昼夜をおかず」／「君子は器ならず」／「故きを温ねて新しきを知る」／「秀でて実らざるもの有り」／「行くに徑に由らず」／「之に居りて倦むことなく、之を行うに忠を以てす」／「遠き慮り無ければ必ず近き憂有り／学んで時に之を習う亦説ばしからずや」／「人の己を知らざるを患えず其の不能なるを患うるなり／怒りを遷さず」／「賢を見ては斉しからんことを思う」／「利に放りて行えば怨多し」／「弋して宿を射ず」／「子曰わく、吾十有五にして學に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして</p>

		心の欲する所に従えども、矩を踰えず」／「君子は食を終るの間も仁に違ふこと無し」／「未だ生を知らず焉んぞ死を知らん」／「徳は孤ならず必ず隣有り」／「その身を正しくすること能わずんば人を正しくすること如何せん」／「天何をか言わんや四時行われ百物生ず」
第 14 号	○論語素読教室 「孔子の思想を次の世代に」／「今伝えたい言葉『心恕』」／『論語』と『孝経』	○論語の章句に学ぶ 「歳寒うして然る後に松柏の凋むに後るを知る」／「力足らざる者は中道にして廢す」／「吾日に吾が身を三省す」／「之を知るを知ると為し、知らざるを知らずと為す」／「賢を見ては斉しからんことを思う」／「賢を見ては斉しからんことを思う」／「中庸の徳たるや其れ至れるかな」／「十有五にして学に志す」／「怒りを遷さず」 ○論語の章句 一言メッセージ 「教え有りて類なし」／「己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」／「苗にして秀でざる者あり」／「学んで時に之を習う、亦説ばしからずや、人知らずして慍らず、亦君子ならずや」／「仁を問う。子曰く、人を愛す」／「学んで思わざれば則ち罔く、思うて学ばざれば則ち殆し」／「子曰く、君子は義に喻り、少人は利に喻る」／「之に居りて倦むことなく、之を行うに忠を以てす」／「義を見て為ざるは勇なきなり」／「子曰く、之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむものに如かず。」／「仁を問う。子曰く、人を愛す」／「己の欲せざる所は人に施すこと勿れ」／「私の思う『論語』とは」
第 15 号	○論語素読教室 「論語を学び次の世代に」	○私の好きな「論語」の章句 「子曰く、その鬼に非ずしてこれを祭るは、諂いなり。義を見て為ざるは、勇なきなり」／「温故知新」／「秀でて実らざる者あり」／「苗にして秀でざるものあり」／「未だ生をしらず焉んぞ死を知らん」／「性相近きなり習相遠きなり」／「その身を正しくすること能わずんば 人を正しくすること如何せん」／「曾子曰く、吾、日に三たび吾が身を省みる。人のために謀りて忠ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。習わざを伝うるか」／「仁に志せば 悪むこと無きなり」／「人の己を知ら

		<p>ざるを患えず 其の不能なるを患うるなり」／「吾日に 吾が身を三省す」／「故きを温ねて新しきを知る」／「教 え有りて類無し」／「その身を正しくすること能わずん ば 人を正しくすること如何せん」／「勞して怨みず」 ／「学びて時に之を習う 亦説ばしからずや」／「子、 四つを以て教う。 文、行、忠、信」／「己の欲せざる 所は 人に施すこと勿れ」／「父母の年は、知らざる可 からざるなり」／「子曰く、故きを温ねて新しきを知ら ば、以て師と為るべし」／「過ちては則ち 改むるに憚 ることなかれ」</p>
--	--	---